



池上典子のホームページ

枚方市議会議員 改革・無所属

池上のりこ

市政報告NEWS

<事務局>枚方市楠葉中町35-16
<TEL/FAX> 072-856-2901
<枚方市役所> TEL.072-841-1221 (代表)

携帯用QRコード



<http://www.ikegami-noriko.jp> (いけがみ-のりこ.jp)

この市政報告は、市政調査の為に発行しています。皆様から頂くメール、お手紙等はパブリックコメントとして議会活動に生かしていきますので、ご意見をお待ちしています。

統一地方選挙の春です。街中、駅前では

「あれもしました。これもやります。」の大合唱が聞こえます。

本来は、市の事業のチェック機関であるべき議会が、市長と競いながら事業を増やし、その優先順位を変え、市の事業を拡大することを「議員の力」とし、税金をばらまき票に変えていく。

その結果が国・地方の天文学的借金です。

20年前から、民主党さえなかった時代ですが、私は市民の皆さんに「あればうれしい程度のものが、まだ必要ですか?」と問いかけてきました。みんなの税の使い道、「**事業の優先順位**」や「**その事業にはいくらかかるのか。**」ということを考えていただきたかったからです。お叱りを受ける、理解していただけないことが多かったのですが、現在ではすでに**有権者の方の意識に、政治が追いついていない**ようにすら思えます。

国・地方の借金が日々膨らむ中、そして以前の市政報告でもお伝えした臨時財政対策債の闇など、市民生活に直結する

健康保険・介護保険、年金等の社会保障制度やセーフティーネットが不透明になる中で、有権者の方の怒りやあきらめを、ひしひしと感ずることが多いのですが、こんな時にこそ自治体の、現場の議員として、少しでも前に、ひるまず突破口を見出していきたいと決意しています。

***池上も市議会議員としての4年の任期が4月に満了しますので、今号はいつもの「総集編」をお届けします。**

【池上のりこプロフィール】

生年月日：1953年 1月5日生 (B型RH+)
経歴：1971年 岡山県立津山高校卒業
：1975年 日本大学法学部卒業
：2011年 枚方市議会議員 5期目
：2013年 枚方市議会 副議長
家族：夫、3人の子供
大きさ：身長/163センチ、体重/?
ニックネーム：「がみちゃん♪」
趣味：囲碁(3段)

池上がこれまで

議会で取り組んできたこと

毎回の「市政報告NEWS」の中で、詳しいご報告をさせて頂いたものの総集編です。皆さんからの関心が高かったものを取り上げさせていただきました。



1 違法性・不当性が疑われる事業。 (終了：解決されたもの)

職員の退職時の1号級・2号級アップの廃止
職員の退職日に給与の等級があがり、その計算式が退職金に反映される。



職員給与表の「わたり」の見直し



公立中学校の授業時間の正常化

なぜか、枚方市内の61%の中学校の授業が、基準である50分が45分となっていた。義務教育に対する組織的な法令違反の疑いがある。
(当時の中野教育長が即時対応)



退職職員の再雇用制度→再任用制度

「再雇用」(一人当たり人件費年間約700万円)については、条例の根拠がなく支給した給与は違法支出の疑いがある。平成14年に条例が作られ「再任用制度」(一人当たり人件費年間約260万円)に移行。



職員の時間外勤務手当の制度の是正

16年前、職員の手当に疑問を持った最初のとっかかりです。当時、残業の一番多い職員の方には年間300万円もの残業手当が支払われていました。当然のことですが、「上司の勤務命令が必要」になりました。



非常勤職員のボーナス、退職金支給



職員の特殊勤務手当の一律加算の見直し



職員の通勤手当の見直し



職員の住居手当の見直し



職員組合との労働協約の正常化

以前は職員の労働条件に関係がある、ない、にかかわらず、ほとんどの枚方市の事業に組合合意が求められていた。



大阪府市町村職員互助会への公費負担

互助会事業の大部分を占めていた「職員の退会給付金」(やみ退職金)部分が平成17年に廃止。年間約3億円の枚方市負担分が約1億円に減額。やみ退職金は各市の職員の退職金に一人平均約500万円が上乗せ給付されていました。平成21年には互助会自体が解散。当然ですが、枚方市負担分はなくなりました。



未解決

職員会館の組合事務所への334㎡の無償貸与

労働組合法7条（不当労働行為）では原則として、「経理上の援助を組合に与えてはならない」とされ、但し、必要最小限の貸与は違法ではないとされているが、駅前の一等地の334㎡が必要最小限と言えるのかはなはだ疑問。料金負担を求めるべきだ。

➡ **昨年度（平成26年）3月にようやく予算化！！**しかし、「枚方市使用料条例」による計算だと、使用料が年間約**350万円**程度とされるが、これを「市長が特に認めて」減免し、年間**124万2000円**を徴収することを決めた。金額については疑問もあるが、はじめの**一歩**との評価をした。

➡ **しかし、その後2つある一方の組合から、8名の弁護士により5月27日に意見書が出され、裁判所に「使用料をただにすることを求める」異議申し立てがされました。**裁判資料とされるその意見書には、池上の組合事務所使用料に関係する議会での一般質問が抜粋されており、掲載については当然公開されているもので何の問題もないのですが、「組合活動を敵視する議員から質問が繰り返される」という、不可思議で客観性を欠く表現が名指しで行われています。そして、その後発行された**9月29日付の組合チラシ（日刊ニュース）**の中にも同様の表現が見られます。私はただ1点「市民のものである行政財産の使用に当たっては、きちんと使用料を払うべきだ。」これを主張しているだけなのですが。



事業系ごみの処理料金の適正化

枚方市の清掃工場に運び込まれる「ごみ」の内、その3分の1を占める事業系のごみ（商店等事業によって出るごみ）は、法律で「その費用は事業者が負担する」となっているにもかかわらず、枚方市が安い料金で焼却処理をしている。その差額の年間約**3億円**について違法性が疑われる。

➡ **平成25年10月に手数料改定！！**10キロあたり**60円**から**75円**に。その差額は15円ですが、効果額は年間約**5千万円以上**。しかし、実際に市が焼却でかかっている経費は10キロあたり**221円**です。金額の大きさもですが、法の趣旨からも早期の改善が求められます。



2 市民合意が得られないと思えるもの、古い慣行の是正

大阪府市町村職員健康保険組合への公費負担の適正化

法律では、職員と自治体（枚方市）の負担割合を「1対1」とされているにもかかわらず、昭和37年の特例を盾に、枚方市が「1対1、46」の加重負担をしている。その差額は年間約1億6000万円にもものぼる。大阪府下自治体を除くほとんどの自治体職員や大阪府職員、サラリーマンの方は「1対1」です。

・・・平成22年12月ようやく終わりました。

終



職員の勤務時間8時間への改正

平成14年7時間30分→7時間45分へ。給与を国に合わせるなら勤務時間も国に合わせて8時間にすべきではないか。職員の平均人件費で計算すれば15分間の差が年間約2億円分になる。

改善

職員の「休息」時間の廃止→「休憩時間」ではありません。

お昼の12時45分から1時までの15分間の「休息時間」が廃止されました。机についていなければならない、仕事はしない・・・得体のしれない制度が廃止されました。年間約2億円分

終



職員の定年退職制度の改正（誕生日退職）

年1回退職から2回になったのですが、戻そうとする流れがあります。一般企業では普通のことだと思うのですが。平成19年度、20年度の効果額は年間約2億円でした。

改善

職員・議員駐車場の有料化

終

職員のネームプレート着用

終

職員の休暇制度

組合休暇の30日、リフレッシュ休暇（長期在職休暇）などの国にはない休暇や国に上乗せした休暇が多くある。国基準、スタンダードへ見直しをかけるべきではないのか。



市役所入口正面にあった「巨大な組合掲示板」の撤去

終



職員の勤務形態や給与等に係る改善提起が多くありますが、次の年から平均500万円の退職金上乗せがなくなる等、その時までの職員にだけしか与えられない厚遇が多く、若い職員は10年後、20年後に現在の職員が享受している待遇が保障されるとは思えないのが現状です。

定年退職をした職員の65歳までの再任用も、以前は4割という枠が設けられていたましたが、今では希望する方にはほとんど100%の採用となっています。

総人件費や生涯賃金の考え方を含め、65歳定年制度をどうするのか、今だけではない持続可能な制度の構築が必要です。

枚方市立の各小学校で行われていた、修学旅行の随意契約

関東では、学校関係者を巻き込み、事件に発展したケースもありました。現在では全て毎年入札。

終了

市役所来庁者用駐車場の有料化

枚方市役所は、駅から歩いて数分の距離にあり公共交通機関を利用される方も多い。駐車場は民有地を含みその借り上げ料は年間約1500万円で、保守・管理料を含めると年間約2300万円の経費がかかっている。無料ということで来庁以外の利用も考えられ、混雑の状況も含め有料化が必要。

市の施設内にある自動販売機の設置手数料収入

市役所、清掃工場、生涯学習センター等多くの公共施設に設置している自動販売機の契約について窓口の一本化と契約の整備、また、設置料金を設置業者から徴収し市の収入に入れるべきだと指摘しました。平成21年度から、入札制にし約4000万円の収入が毎年市に入るようになりました。<当初は担当課でさえ定かではなく調査に1年以上かかりましたが、頂いたパブリックコメントがヒントになったものです。>

終了

市民病院、火葬場及び公共施設の利用料の市民と市外利用者の差額料金設

改善

保育所入所の兄弟・姉妹枠

他市では多く制度として取り入れられているのですが、枚方市では枠がありませんでした。待機児童の解消はもちろんですが、毎日のことなので複数の保育所の送迎の困難さは想像に難くありません。(これも頂いたメールをもとにしたものです。)

改善

「広報ひらかた」の不適切と思われる表現の改善

- ① アルバイト職員の募集記事での「男子学生募集」の表記。男子を外した途端に女性の応募者があり、暑い夏でしたがごみ収集をがんばりました。
- ② 毎回のように色々なイベントでの「市内在住・在職家庭婦人」の募集記事があり、男性の場合は単に「成人男子」との表記です。在職の家庭婦人って・・・いったいどんな方???理解しがたいのですが、改善までにはとても時間がかかりました。

終了

保育所の広域入所(勤務地での入所)

枚方市民の方が勤務される自治体の待機児童がいない場合、勤務地での保育所入所が可能になりました。当り前のように思えるのですが、実現はご意見を頂いた方に間に合いませんでした。

改善

国民健康保険(市民の約3分の1加入)の医療情報本人通知と保険証の個人配布

- ① 個人情報の最たる「医療情報」の、家族分全てが世帯主に送付される問題
 - ② 家族それぞれに対して、健康保険証を配布すべきではないのか。(他の組合はほとんどカード化、個人単位)
- 時間はかかりましたが、ようやく実現しました。

*国民健康保険の本質的な問題は、どこの組合にも入れない市民をまとめて国民健康保険に入れ、収支を合わせることなのです。一刻も早く解決しなければ国の医療制度そのものの崩壊が危惧されます。

一部改善



3 その他

**教育委員会の
市長部局への権限移譲
(学校教育への集中)**

**DV(家庭内暴力) 被害者の
「駆け込み寺」設置**

配偶者からの暴力を受けたことがある女性3割、その内、命の危険を感じたことのある方が3割という数字があります。「どのような理由があっても暴力は許さない!!」という行政意思を示すべきです。

消防組合の分離

枚方市(人口約41万人)は、寝屋川市(人口約24万人)と共同で「枚方寝屋川消防組合」を構成しています。①類似都市に比べて経費的効果がない②市との連携が取りにくい。(災害時の連携が不安)③人口規模を考えれば合同でやる理由がない。・・・お隣の交野市は約8万人の人口ですが単独消防です。

**妊婦健診への助成
の拡充**

中学校給食の実施

4年前、中学校の「主食とおかずのそろった完全給食率」が、全国平均では81.6%と驚くような高い数字です。それに引き換え大阪府では、12.3%で全国最下位。枚方市は0%。大阪府下の自治体は他の自治体が中学校給食にかけたお金を、一体、何に使ったのでしょうか。

➡ **大阪府からの補助金が決まり、府下の自治体も導入に動き始め、枚方市でも平成28年4月の中学校給食実施に向け施設建設中です。**

人権協会の廃止・・・

既得権益としての同和事業からの脱却

多様化する社会の中で行政として、女性・障害・高齢者等様々な人権に対する施策が求められます。

電気料金の競争入札取り入れ

市役所の庁舎、教育施設等の市有施設での電力「購入」が、以前は関西電力のみであったものが競争入札を導入し、財政上も大幅な支出の減少効果がありましたが、節電の夏は別の効果もありました。東部清掃工場についても、昨年12月議会で質問し競争入札にするとの答弁がありました。また、工場で発生する電気の「売電」ですが、これも売買契約の見直しを担当職員ががんばり、年間約2億1000万円と前年比で年間約7300万円の増収につながりました。



4 議会内での取り組み

**コンプライアンス
(口利き防止) 条例制定**
(2006年に全会一致) **実施**

**議員厚生会の人間ドック
への公費負担完全廃止**
2007年 **廃止**

**政務調査費の領収書
の全面公開** 2007年 **実施**

**個人視察の補助金、
年10万円の廃止**
2007年 **廃止**

議員報酬6%削減
議会改革特別委員会の中で議論され、議会が自主的に決定、実施中
2012年 **実施**

議会基本条例制定
2014年 **実施**

通年議会の導入
2015年 **実施**

議員定数の削減 2015年 **実施**
今年4月の選挙から議員定数34人を32人に削減されます。有権者1万人に議員一人という全国的にも少ない人数になります。

議員・市長等報酬アップ **反対**
「人事院勧告に従う」ということでの市長提案だったので、東京はいざ知らず、市民に景気回復の兆しが広がっているとは思えない状況、また、消費税増税による厳しさを日常生活で感じておられる方も多し中、真っ先に報酬を上げるといふ考え方そのものに違和感があります。
＜チーム2会派「改革市民会議」「未来に責任みんなの会」の7名は反対しました。＞
2015年12月

当然のことですが、「改革」はそれ自体が目的ではなく、近年の集中豪雨にみられるような災害や社会保障・セーフティーネットの構築、老朽化する学校施設の整備などの大規模事業の原資となり、また、変化する社会状況に合わせた制度の改変等、**持続可能な自治体の構築**に欠かせないものと考えています。



キリトリ

郵便はがき

573-1107

切手をお貼り下さい。

枚方市議会議員

池上のりこ行

枚方市楠葉中町35-16

キリトリ

はがき、メール、お手紙等たくさんのパブリックコメントを本当にありがとうございました。

皆さんから頂いたご意見ご提案で「不思議な制度」が是正されたり、毎年の財源として収入が確保されるなど、多くの気づきがありました。

4年間の任期満了に際して、改めて感謝をいたします。

池上は、後援会は持たない。

既得権益団体からの支援は受けません。

「真面目に働き、文句を言いながらもきちんと税金を払う」多くの市民の方たちと一緒に、

既得権と戦い、持続可能な自治体をめざして、「改革を前に！！」

がんばります。



※ご意見（パブリック・コメント）をお寄せください。

パブリックコメント（ご意見）



「そうだ選挙、行こう!!」

◆無党派の良心的な棄権者の皆様へ

投票にあたって、この人が絶対だと思えなくてもいいんです。まだましと思える何人かの一人を「えいやっ!!」って投票しましょう。でなければ、あなたが絶対選ばない候補者への「NO！」は届かないのです。

◆若い棄権者の方たちへ

投票に行かない若い世代に対して、政治は「負」の部分押し付けます。投票に行かない層は怖くないからです。

押し付けられた山ほどの借金を返済しなければならないとき、決定者たちはこの世にいないかもしれないのです。

(フリガナ)	
お名前	年齢 歳
ご住所 〒	